

本プレスリリースは、株式会社電通総研と株式会社電通、株式会社電通東日本、株式会社電通西日本、株式会社電通デジタル、株式会社電通コンサルティング、株式会社電通マクロミルインサイトとの連名配信のため、重複してお手元に届く場合がございますことを予めご理解ください。

Press Release



2025年9月18日

株式会社電通総研

未来に向けた事業創造を支援するツール

「電通 未来ファインダー100®(2025年版)」を提供開始

－ ポスト SDGs のビジネスチャンスを探る共創セッションの参加者を募集 －

テクノロジーで企業と社会の進化を実現する株式会社電通総研(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩本 浩久、以下「電通総研」と国内電通グループ6社^{*1}の横断組織である「未来事業創研」は、企業の未来価値を独自のアプローチで見いだすことを目的に、2040年の社会実態を予測し、中長期的な未来から逆算して企業の持続可能な事業創造を支援するツール「電通 未来ファインダー100®(以下「本ツール」)」^{*2}を2025年版にアップデートし、2025年9月18日(木)より提供を開始します。また、アップデートに伴い、本ツールを活用してポストSDGsの未来におけるビジネスチャンスを未来事業創研メンバーとともに探索する共創セッションを開催します。

本ツールは、信頼性の高い外部情報ソースから2040年に向けた予測情報を収集し、人・社会の視点から考察を加えることで、企業のパーパス・ビジョン策定、事業創造のヒントになる情報を8カテゴリー・100のテーマに整理したものです。これまで、多くのクライアントに、長期戦略策定や新規事業開発などで活用されています。異なるテーマを掛け合わせて新たなビジネスチャンスを探る共創セッションや未来創造コンサルティングサービスも提供しており、「ポストSDGs」と呼ばれるSDGsが当たり前となった2040年の未来における事業構想を支援します。

本ツールでは、各テーマのシートが「表面」と「裏面」で2面構成となっており、表面には2040年の未来を考えるために必要な情報(市場規模予測などの定量データを含む)と、これらの情報を基に、人や社会の変化、社会課題など未来の事業を考えるために重要な示唆を記載しています。裏面には、現在起きている具体的な兆しの事例や、2040年の未来で起こり得るビジネス機会を「未来チャンス」として記載しています。

未来事業創研では、一見無関係なテーマ同士を意図的に掛け合わせることで、既存の事業領域の発想に縛られない、未来における新しい価値創造につながるアイディエーションプログラムを提供しています。2025年版では、その参考例を「未来チャンス」として紹介できるよう、裏面を改定しました。未来に向けて避けられない事実としての「気候変動への適応」や「止まらない人口減少への適応」、また未来のビジネスを考える上で重要度が増す「AIの進化による変化」の3つを、すべてのテーマに必ず掛け合わせる重要なテーマとして発想しているほか、未来事業創研メンバーの視点でよりクリエイティブな発想が生み出せる掛け合わせ例も提示しています。

さらに、一部テーマの統合や名称変更を行った上で、気候変動を含む複数の要因によるコメや野菜の価格高騰などを背景に、世の中の関心が高まっている「農業」をはじめとして、未来のビジネスを考える際に重要と捉えた5テーマ(「農業」「つながり」「推し活」「資産」「情報流通」)を新たに追加しています。

<電通 未来ファインダー100®(2025年版:表面)>

18
農業

食の安全はみんなで保つ「1億人総farmer時代」の到来
生産現場と消費者間の理解が深まり、農業は成長市場へ

2040

2040年はこんな未来

副業で大人気！？半民半農のWワーク

- 農業従事者の世代交代が進み、大規模経営時代に。その結果、フルタイムしない農業が可能になり、リフレッシュも兼ねて農業を副業にするという選択肢が増加。

農家のトレンドは安定/効率から持続可能へ

- 人的負荷を下げるためのスマート農業が一定数定着し、農業経営は安定軌道が見えるフェーズへ突入。農家の次なる変革トレンドは環境保全型農業へ。

食料もモノよりヒトで選ぶ時代が本格化

- データの普及に伴い、マーケットインの生産や販路改革によるトレーサビリティの証明が普及し、生産者と消費者が相互に関与できる時代へ。成果物の美味しさだけでなく、生産者そのものへの信頼も選択肢の1つに。

Copyright © Dentsu All Rights Reserved.

<電通 未来ファインダー100®(2025年版:裏面)>

2040年の未来に向けた兆し事例

● [Redacted]

● [Redacted]

● [Redacted]

未来チャンス

<p style="text-align: center;">×気候変動</p> <p>急激な気候変動により培ってきた技能ロジックが崩壊。全く新しい手法を用いた若年農家が各地で誕生。</p>	<p style="text-align: center;">×日本の人口</p> <p>国内消費が激減し、農家の半数以上が海外の遠隔操作にスイッチした結果、メイドバイジャパンの農産品が世界中に席巻。</p>	<p style="text-align: center;">×AI</p> <p>ソーシャルバンクの可視化が進み個人農家の農業経営の方針が変化。新たな投資対象として注目される。</p>
<p style="text-align: center;">×メンタルウェルネス</p> <p>土に融ることの癒し効果が見直され、ココロの未病対策(メンタルレジリエンス)として農家サポートが福利厚生化。</p>	<p style="text-align: center;">×若者</p> <p>サステナブルさがアイデンティティの表現手段に。味や栄養ではなく環境負荷が価格に転嫁され高額農産品が登場。</p>	<p style="text-align: center;">×パーソナライズ</p> <p>消費者の嗜好をインプットすることで、好みの味・大きさに栽培できるデータセットが販売。</p>
<p style="text-align: center;">×富裕層</p> <p>環境との調和、国際情勢に左右されない強靱なライフスタイルを求めて「農地付き農家」を雇用する富裕層が増加。</p>	<p style="text-align: center;">×子どもの学び</p> <p>収穫による達成感と、自然の脅威による理不尽さのどちらも学べるとして義務教育の科目に「農業」が追加。</p>	<p style="text-align: center;">×経済</p> <p>収穫予測とサステナビリティランクに基づくインデックス保険が主流に。</p>

<電通 未来ファインダー100®(2025年版:テーマ一覧)>

100テーマのリスト

01 気候変動	11 戦争のカタチ	21 DEI	31 文化継承	41 家事	51 ペット	61 海外旅行	71 保険	81 グノム編集	91 SuperCity
02 自然災害	12 毒害	22 貧困層	32 食べる	42 働く	52 出産	62 宇宙旅行	72 メディア	82 通信	92 モビリティ
03 食の不足	13 宗教	23 富裕層	33 飲む	43 買い物	53 恋愛	63 エンタメコンテンツ	73 情報流通	83 コミュニテック	93 交通システム
04 水の不足	14 日本の人口	24 孤独	34 外食・デリバリー	44 メンタルウェルネス	54 結婚	64 アート	74 小売り	84 ロボティクス	94 ジェンダーテック
05 海の豊かさ	15 世帯構成	25 治安	35 パーソナライズ	45 運動	55 子育て	65 リラクゼーション	75 自然との共生	85 自動運転化	95 フードテック
06 陸の豊かさ	16 労働者不足	26 お金	36 料理	46 医療	56 老後	66 ライブエンタメ	76 資産	86 サイバーセキュリティ	96 ビューティーテック
07 エネルギー	17 地域変革	27 死	37 新嗜好領域	47 健康	57 介護	67 推し活	77 AI	87 量子技術	97 農業テック
08 バイオエノミ	18 農業	28 経済	38 住まう	48 つながり	58 子どもの学び	68 プライバシー	78 メタバース	88 クリーンエネテック	98 宇宙
09 宇宙の環境変化	19 若者	29 地政学的リスク	39 ファッション	49 睡眠・夢	59 大人の学び	69 物流	79 webX	89 思考・感情テック	99 エイジテック
10 世界の人口	20 多文化共生	30 企業価値	40 ビューティー	50 責任の消費	60 国内旅行	70 スマートホーム	80 テレグジスタンス	90 身体拡張	100 コンテック

なお、本ツールのアップデートに伴い、ポスト SDGs におけるビジネスチャンス未来事業創研メンバーとともに探索する共創セッションを開催します。未来の動向を把握し、自社の事業課題と結び付けながら、ポスト SDGs に求められる新たな価値やビジネスチャンスを探索できます。

セッションは下記の二部構成を予定しています。

第一部：未来のことを知り、未来に向けたアクションを知る(未来勉強会)

第二部：未来に向けたビジネスチャンスを探索する共創セッション(体験版)

<セッション概要>

- ・ 日時:2025年10月29日(水)15:00~18:00
- ・ 会場:電通本社ビル(東京都港区東新橋1-8-1)
- ・ 定員:30名
- ・ 参加費:無料

※ セッション終了後に、簡単な懇親会も予定しています。

<対象者>

以下のような課題をお持ちの方/チームの皆さま

- ・ 2040年の未来を見据えた、2030年代に向けた長期戦略やロードマップ策定
- ・ 未来を創出し、持続的成長が可能な事業開発
- ・ 2030年代に向けた企業ビジョン(ミッション・ビジョン・バリュー)策定

※本セッションはチーム単位での体験形式となっています。本セッションを通してチームで共通の課題を考える契機としていただけるよう、一社あたり2~3名での参加を推奨していますが、お一人での参加も歓迎します。

<申込先>

下記 URL よりお申し込みください。(事前登録/抽選制)

https://pages2.dentsudigital.co.jp/seminar/20251029/?utm_source=dentsusoken&utm_medium=other&utm_campaign=20251029_seminar

<申込締め切り>

2025年10月3日(金)14:30

※ 当選結果は 2025年10月14日(火)~10月17日(金)の間にメールにてご連絡します。

当社は、「未来事業創研」の活動をはじめ、今後もクライアントの事業成長に必要な未来志向の事業創造・変革の実現を支援していきます。

※1 国内電通グループ6社:株式会社電通、株式会社電通東日本、株式会社電通西日本、株式会社電通デジタル、株式会社電通コンサルティング、株式会社電通マクロミルインサイト

※2 2023年12月12日発表:人と社会が望む2040年の未来の暮らしを構想し、ビジネスチャンスを発掘する「電通 未来ファインダー100」を提供開始 <https://www.dentsu.co.jp/news/business/2023/1212-010671.html>

2024年9月10日発表:未来の暮らしを構想し、ポストSDGsのビジネスチャンスを発掘する「電通 未来ファインダー100®(2024年版)」を提供開始 <https://www.dentsu.co.jp/news/release/2024/0910-010774.html>

<ご参考資料>

■電通総研について <https://www.dentsusoken.com>

電通総研は、「HUMANOLOGY for the future～人とテクノロジーで、その先をつくる。～」という企業ビジョンの下、「システムインテグレーション」「コンサルティング」「シンクタンク」という3つの機能の連携により、企業・官庁・自治体や生活者を含めた「社会」全体と真摯に向き合い、課題の提言からテクノロジーによる解決までの循環を生み出し、より良い社会への進化を支援・実装することを目指しています。

テクノロジーや業界、企業、地域の枠を超えた「X Innovation(クロスイノベーション)」を推進し、これからも人とテクノロジーの力で未来を切り拓き、新しい価値を創出し続けます。

- * 電通国際情報サービス(ISID)は、電通総研へ社名を変更しました。
- * 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コンサルティング本部 電通未来ファインダー窓口 神山、黒川

E-Mail: g-info-con@group.dentsusoken.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通総研 コーポレートコミュニケーション部 野瀬

TEL: 03-6713-6100

E-Mail: g-pr@group.dentsusoken.com